

三康文化研究所 研究員  
オススメ本コーナー

「徳川家康と増上寺」

私は日本近世仏教史、特に徳川家康の仏教政策を基点に天台宗・真言宗・浄土宗・日蓮宗の研究領域としています。

私の研究方法は既存の高僧伝や寺史を参照することなく、私が積極的に開拓した同時代の信頼できる古文書・古記録史料を中心に、詳しく知るのではなく、確実にわかることを中心に論述する文献学的な手法を中心としております。

第3回公開講座の発表では、私の新規の研究発表ではなく、アンケートで要望が多かった「徳川家康と増上寺」を拙著『観智国師存心上人伝』（請求記号:188.4282-Z5）（平成21年、文化書院刊）を参考にしながら紹介させていただきます。内容は、資料は全て漢文体ですが、平易な読み下し文にいたしました。さらに詳しく知りたい方は、平成11年に増上寺が発表した『大本山増上寺史』2巻（請求記号:188.461-D18-1~2）『増上寺史料集』9巻（請求記号:188.461-Z5-1~9）『附巻、増上寺文化財目録』（請求記号:188.461-Z5-B2）を御覧ください。文化財目録は増上寺の現存資料を全て目録化しております。増上寺で図書館と同じように登録番号を申請すれば、その原本を閲覧することができます。希望者はご利用下さい。


※三康図書館所蔵資料に請求記号を付与 (宇高 良哲)

第3回公開講座「徳川家康と増上寺」


**宇高 良哲 (うだか よしあき)**  
専門分野: 日本近代仏教史、浄土宗、天台宗、真言宗、儒教史  
2023年第3回公開講座では、これまで開催された公開講座の参加者アンケートで要望が多かった『徳川家康と増上寺』について発表されます。公開講座に先駆けて、ご紹介いただきました。

「徳川家康と増上寺」  
**徳川家康と増上寺の関係**

徳川家の菩提寺  
徳川家康は、徳川幕府の初代将軍として、徳川幕府の基礎を築いた。その菩提寺として、増上寺が選ばれた。増上寺は、徳川家康の菩提寺として、徳川幕府の発展と共に発展してきた。増上寺は、徳川家康の菩提寺として、徳川幕府の発展と共に発展してきた。



観智国師  
存心上人伝



増上寺史料集 附巻  
188.461-Z5-B2

31-5

増上寺関係資料

五百羅漢 野野一信

増上寺史

三縁山 増上寺

大本山増上寺史 一巻

大本山増上寺史 二巻

増上寺 徳川將軍墓とその遺品遺体 鈴木尚 山辺知行 編

増上寺子院群 源興院跡 光学院・自松院跡 東京都港区教区

文明開化と江戸の残像 宇高良哲 著

古泉蔵  
「三縁山 本度院増上寺絵図」  
版元 出版年月未詳  
請求記号:国3-224



増上寺内部を描いた絵図。境内の子院や、現在は埋め立てられ姿を消した「桜川」も見られる。この絵図の出版年月は未詳であるが、絵図に「徳川家康御前御用掛 傳信院藏 家康公宝曆十一年(1761)の記載があることから、九代将軍が御用掛であった宝暦11(1761)年以降に出版されたものと推定される。※複製品を500円で販売しております。見本はロービーにあります。

31-6

# 「徳川家康と増上寺」

私は日本近世仏教史、特に徳川家康の仏教政策を基点に天台宗・真言宗・修験宗・浄土宗を研究領域としています。

私の研究方法は既存の高僧伝や寺誌・由緒書に頼ることなく、私が積極的に開拓した同時代の信頼できる古文書・古記録史料を中心に、詳しく知るのではなく、確実にわかることを中心に論述する文献学的手法を中心としております。

第3回公開講座の発表では、私の新規の研究発表ではなく、アンケートで要望が多かった「徳川家康と増上寺」を拙著『観智国師存応上人伝』（請求記号:188.4282-Z5）（平成21年、文化書院刊）を参考にしながら紹介させていただきます。今回の引用史料は全て漢文体ですが、平易な読み下し文にいたしました。さらに詳しく知りたい方は、平成11年に増上寺が発表した『大本山増上寺史』2巻（請求記号:188.461-D18-1～2）『増上寺史料集』9巻（請求記号:188.461-Z5-1～9）『附巻、増上寺文化財目録』（請求記号:188.461-Z5-B2）を御覧下さい。文化財目録は増上寺の現存資料を全て目録化してあります。増上寺で図書館と同じように登録番号を申請すれば、その原本を閲覧することができます。希望者にご利用下さい。

※三康図書館所蔵資料に請求記号を付与

（宇高 良哲）